

平成26年10月8日（水）

武蔵野市 環境部環境政策課
森本章稔

「武蔵野市が取り組む
エネルギー施策について」

1

1. 武蔵野市の概況

2

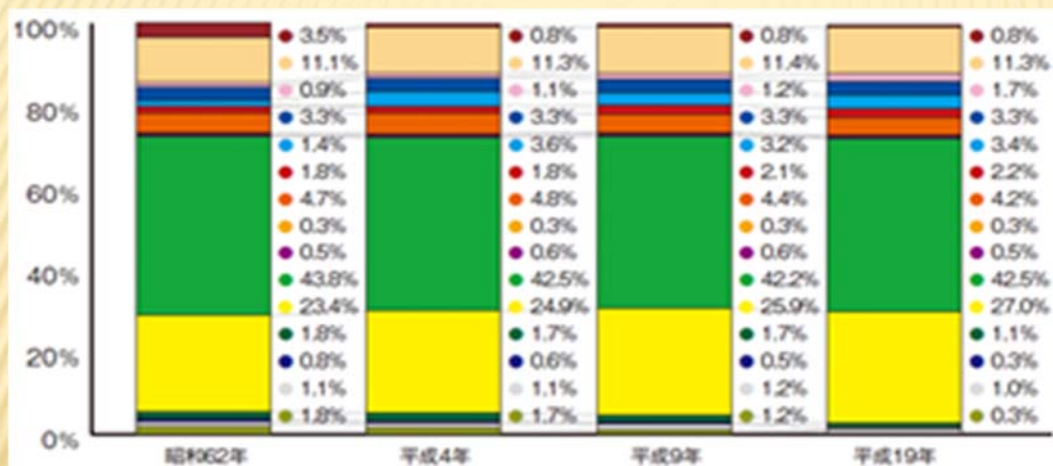
人口構成・土地利用状況



面積:10.73km²
 (東西6.4km 南北3.1km)
 地形:平坦
 人口:142,097人
 世帯数:73,932世帯
 世帯あたり人口:1.92人
 人口密度:13,243人/km²
 (埼玉県蕨市に次いで全国2位)
 (平成26年9月1日現在)
 昼夜間人口 110.5%
 一般会計予算約600億円
 (特別会計約900億円)
 住宅数:76,380戸(平成20年)
 共同住宅 約73%
 一戸建て 約24%

3

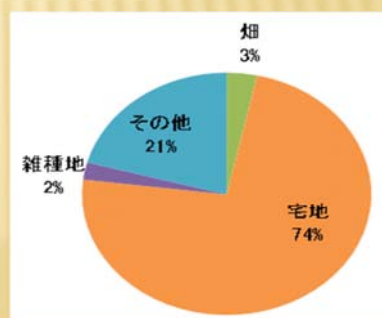
武蔵野市の地目別面積



武蔵野市の地目別面積

項目	面積(m ²)
畑	340,626
山林	308
宅地	7,526,869
雑種地	224,428
その他(道路、水道用地、公園等)	2,128,300
合計	10,220,531

出典:武蔵野市「2012年版市勢統計」



武蔵野市の地目別面積

出典:武蔵野市「2012年版市勢統計」

4

2. 武蔵野市の環境施策について

5

武蔵野市のこれまでの取組み

○取組み（エネルギー関連）

- × ISO14001の認証取得
- × 環境配慮設備設置に対しての補助制度
- × 公共施設への太陽光発電システム等設置
- × 公共施設のエネルギー融通
- × 公共施設のエネルギー使用量の見える化
- × むさしの環境フェスタ等の環境啓発事業
- × 緑・水循環・ごみ減量等の推進
- × まちづくり条例における事業者協力制度 等々



6

武蔵野市の環境についての計画

武蔵野市第五期長期計画（平成24年4月）

- 環境・エネルギー関連の施策・事業（主なもの）
 - **環境負荷低減施策の推進**：都市基盤における環境負荷低減の推進、低炭素社会に向けた施策の推進
 - **循環型社会システムづくりの推進**：新グリーンセンター整備と安全で効率的なごみ処理の推進、ごみ資源化・エネルギー化の推進 など
 - **「緑」を基軸としたまちづくりの推進**：生物多様性保全、緑地整備・拡充など

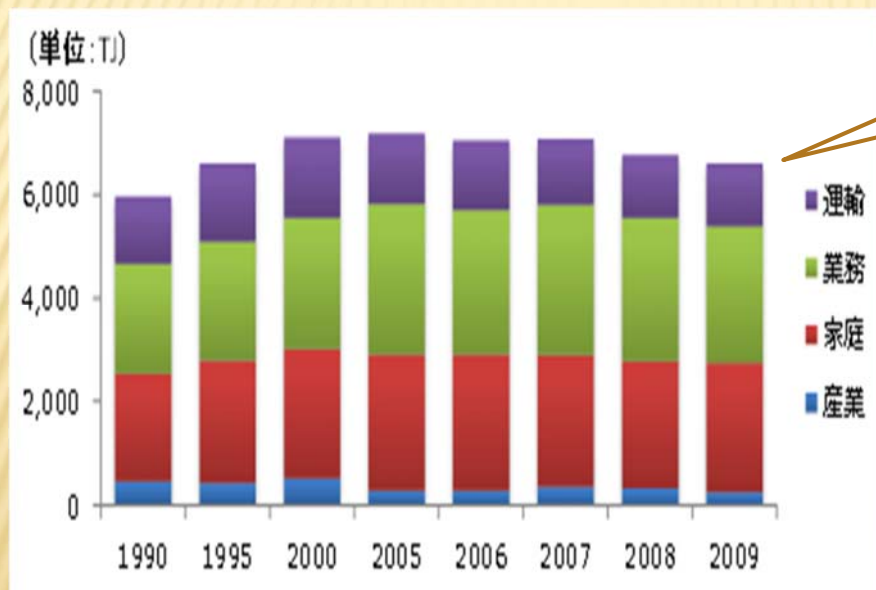
第三期武蔵野市環境基本計画（平成23年4月）

- 目指す環境像：『**みんなでめざそう・エコシティむさしの**』
- 環境像の実現に向けた道すじ
 - 地球温暖化防止のために、市域の温室効果ガス排出量の大幅な削減を目指す
 - 生物多様性の保全に配慮した生活・暮らしを営み、市の自然を守り、育てる
- 環境・エネルギー関連の事業展開（主なもの）
 - **しくみづくり**：環境教育・環境学習の推進
 - **ライフスタイル**：太陽光発電等の導入および家庭向け補助、省エネ機器の導入、ごみ資源・エネルギー化検討
 - **緑と水**：緑化推進、カーボンオフセット
 - **道路交通**：公共交通総合連携、自転車利用促進、パークアンドバスライド
 - **景観・まちづくり**：公共施設改修、環境配慮・性能を評価したまちづくり
 - **健康・安全**：安全・安心な住まいづくり

3. 武蔵野市のこれからの取組み

市内のエネルギー消費量

武蔵野市のエネルギー消費量の割合



割合についてはあまり大きな変化はない

家庭部門と業務部門でエネルギー消費量の約8割を占めている。

出典：オール東京62市区町村共同事業「みどり東京・温暖化防止プロジェクト」（平成24年3月）をもとに作成

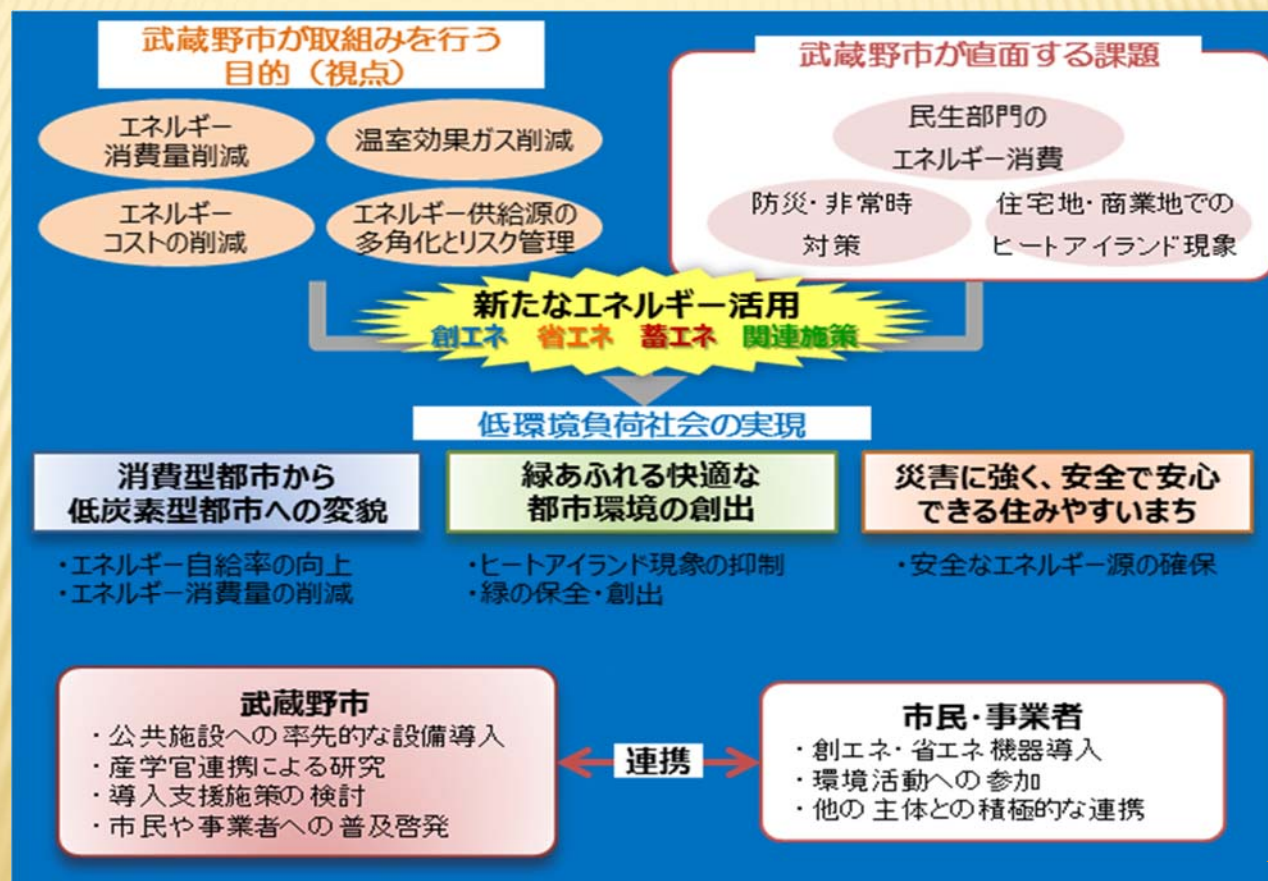
9

本市で導入可能な再生可能エネルギーの検討

適用技術	電力	熱	利用可能性	武蔵野市内での利用可能性
太陽光発電 太陽熱利用	○		大	住宅・建築物屋上に設置
廃棄物（ごみ）	○	○		クリーンセンターで実施
温度差・地中熱利用				地中熱：可能性あり
バイオマス（主に木質）	○	○		市外からの搬入によって利用可能（他地域との連携が必要）
雪氷熱利用		○		
小水力発電	○			水量・落差なく困難
風力発電	○		小	風速・設置場所の確保困難

10

本市におけるエネルギー活用



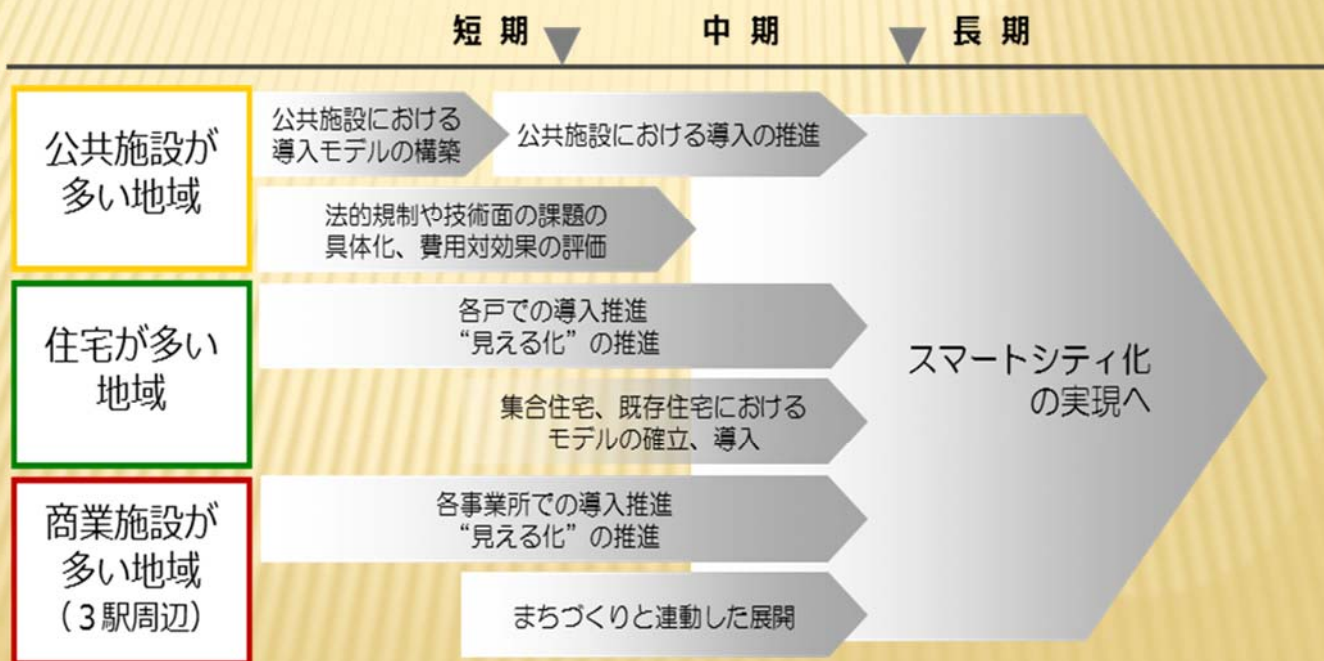
11

武蔵野市を3エリアに分ける



12

市内を3エリアに分けて施策を展開



13

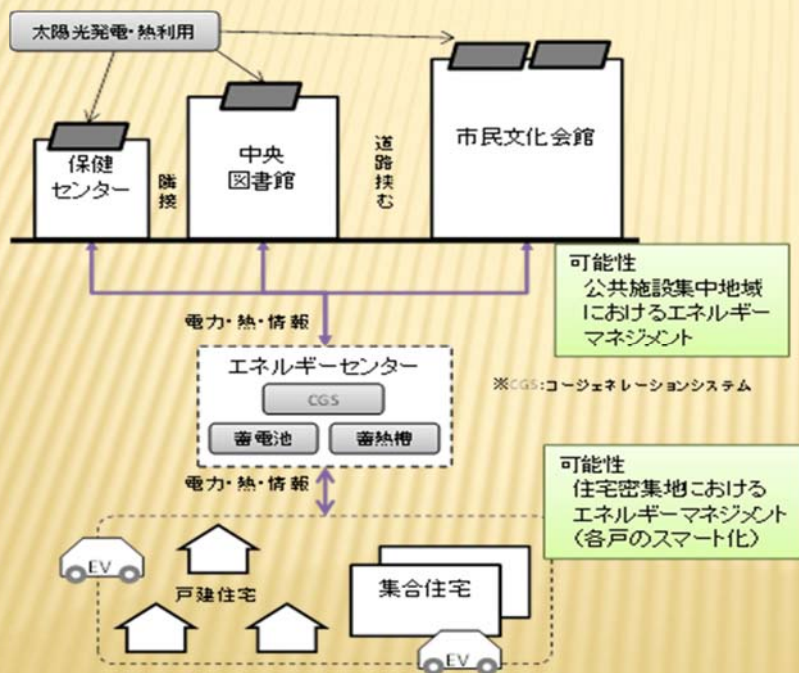
エネルギー利用の効率化①



14

エネルギー利用の効率化②

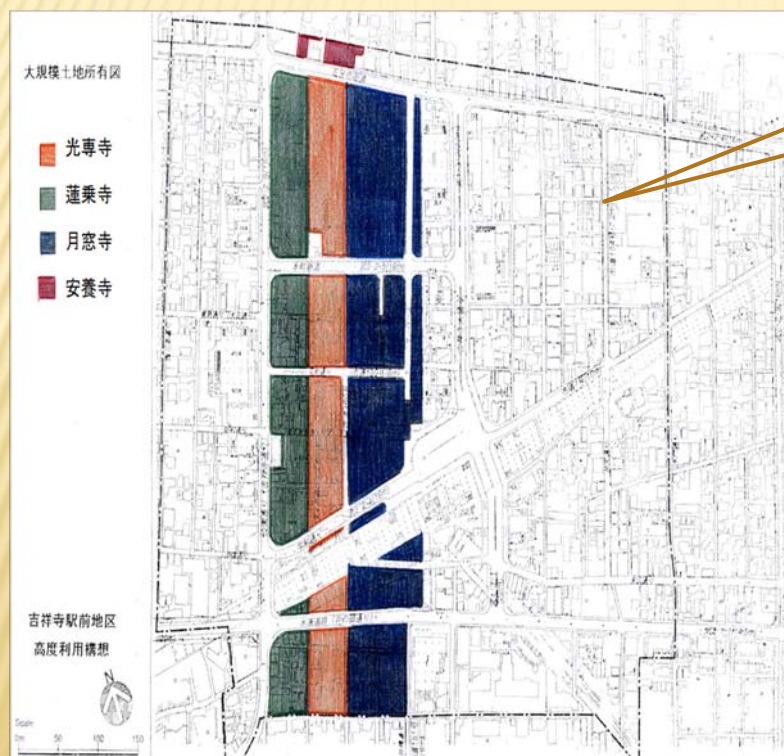
○導入モデル・市民文化会館



15

エネルギーの創出・効率化の課題

例)吉祥寺駅付近



- ・ お寺が大地主
- ・ 条例による影響が個別に働かない

- ・ 地権者との協力
- ・ 環境啓発意識の増進
- ・ 経済的なメリット
- ・ インフラ整備
- ・ スマートメーター普及

etc

16

市内大学との連携



成蹊大学 新6号館に設置された
先進的な環境配慮設備の効果を共同研究

- ⇒
- ・まちづくり条例への活用
 - ・補助金の資料 etc

理工学部との協働プロジェクト
として実施！
大学で環境施策について講義を
行いました。



17

ご清聴ありがとうございました。



18